

ボツワナ共和国月報(2025年4月)

主な出来事

【内政】

- マオペ2世首長会議議長、ボコ大統領を表敬
- ボツワナ医師組合、政府との対立
- 水道税30%引き下げ
- CMBのCEO拳銃自殺
- CEDA、チェマチェマ基金の新規受付中止
- ボツワナ国防軍、米国陸軍との合同訓練を実施
- ボコ大統領、3000戸の新規住宅建設プロジェクトを発表
- 反密猟国家戦略の策定
- 政府、ボコ大統領による閣僚・政府高官のメディア露出停止指示の噂を否定

【外政】

- 韓国大使、ブタレ国際関係大臣表敬
- 国民議会関係者のIPU会議出席
- ブタレ国際関係大臣、第4回外交フォーラム出席
- ボコ大統領、ヒチレマ・ザンビア大統領と会談
- ブルキナファソ使節団、ボツワナ訪問
- ハオラテ副大統領兼財務大臣、訪米
- ボツワナとルクセンブルク、金融サービスでパートナーシップ協定
- ボコ大統領の南ア訪問
- 通信・イノベーション省副大臣、ZTEと会合
- モロチ環境観光大臣、バーゼル・ロッテルダム・ストックホルム三条約合同締約国会議(2025年開催)に出席

【SADC関連】

- SADC45周年
- SADCと西サハラ、MoUを締結
- SADC、次期アフリカ開発銀行総裁選でザンビア候補支持を表明

【経済】

- 対ボツワナのトランプ関税は37%
- S&A格付け-見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ-
- 第12次国家開発計画策定に向けた協議の開始
- 野菜輸入禁止措置の一部解除
- 2025年第2回金融政策会合-政策金利は1.9%で変わらず-
- IMFによる経済見通し-2024年、2025年共にマイナス成長-
- インフレ率(2025年3月)-2.8%-

○ 国際商品貿易統計(2025年2月)ー赤字が継続ー

【文化】

○ ボコ大統領、2025年の「最も影響力のある100人」に選ばれる

【日本大使館関係】

○ 日本理解促進のための図書寄贈式典

【内政】

○ マオペ2世首長会議議長、ボコ大統領を表敬

8日、マオペ2世首長会議議長はボコ大統領を表敬し、両者はボツワナで全国的に暴力事件が増えていることへの懸念等を共有し、同大統領は部族長(コシ)を含む関係者にこうした課題への対処方針を示すよう求めた。

○ ボツワナ医師組合、政府との対立

6日、ボツワナ医師連合(BDU)は、医療分野における緊急コールシステムについて、翌7日から、公立病院の医師の当番を1か月1回、24時間に限定すると公表した。この決定を受け、ボツワナ政府はBDUを裁判所に提訴した。野党からは、公務員として公立病院に勤務する医師の労働条件の一方的な限定は公的医療サービスの危機に繋がるとの批判が出ている。

○ 水道税30%引き下げ

9日、ラモハピ水資源・住宅大臣はコトラミーティングに出席し、水道税の30%引き下げ、及び、一部の多額負債者には最大50%の未払い金免除を実施することを発表した。さらに、住民には、水道局を訪れて減税価格で支払いを行うよう奨励した。また多額負債者には、6月末までに残高の支払い計画を立てるよう奨励した。

○ CMBのCEO拳銃自殺

11日、キャピタル・マネージメント・ボツワナ(CMB)の元取締役、ティモシー・マーズランド氏が南アで拳銃自殺した。2014年、同氏の下、CMBはボツワナ公務員年金基金(BPOPF)の管理入札で不適切に落札し、更に、彼の監視下で5億プラが「消えた」と報じられおり、同氏は、詐欺と資金不正流用の罪でボツワナへ引き渡される予定だった。BPOPFを巡っては、カーター・モルピシ元大統領府次官が有罪で収監され、汚職の疑いで同基金の監査が進んでいた。

○ CEDA、チェマチェマ基金の新規受付中止

17日、市民起業開発庁(CEDA)はチェマチェマ基金の新規受付を中止していると報道発表した。これは前政権の肝入りで中小企業の起業促進を狙った同基金が2億プラを投じたものの返済が2%に止まったことから、2月27日にボコ大統領が同基金を貸し付けから助成金に変更し、新規申し込みを中止すると述べたことに続くもの。

○ ボツワナ国防軍、米国陸軍との合同訓練を実施

ボツワナ国防軍(BDF)は、米国陸軍と国防及び密猟を想定した合同訓練を実施した。

○ ボコ大統領、3000戸の新規住宅建設プロジェクトを発表

22日、ボコ大統領は国土農業省傘下のボツワナ住宅公社(BHC)が10万戸の建設を実施する計画の第一弾として、3000戸の新規住宅建設プロジェクトを発表した。この計画は、住宅不足と地域経済活性化を目的としている。

○ 反密猟国家戦略の策定

24日、UNDP等が支援する国家反密猟戦略2025－2030の策定式が行われ、モロチ環境観光大臣、モワサ大統領府担当大臣、ブタレ国際関係大臣らが出席した。ブタレ国際関係大臣は、密猟を含む野生動物に対する犯罪は環境問題に止まらず、国の治安や経済への脅威であると述べ、同戦略の策定を歓迎した。

○ 政府、ボコ大統領による閣僚・政府高官のメディア露出停止指示の噂を否定

26日、政府はボコ大統領が閣僚及び政府高官にメディア露出を停止させたとする週刊紙で報じられた疑惑について、報道発表で否定した。モワサ大統領府担当大臣とボツワナ医師組合等とのミーティングにおいて、同大臣が問題を解決するまでメディアに接触しないよう参加団体に要請したことが、上記の報道の発端となった。

【外政】

○ 韓国大使、ブタレ国際関係大臣表敬

4日、パク韓国大使は、ブタレ国際関係大臣を表敬。両者は両国の関係強化や世界規模課題への対応等について議論した。ブタレ大臣は、韓国による教育、e-Govプログラム、イノベーション、コミュニケーション分野などでボツワナに提供された開発援助について謝意を述べた。また、9日、同大使はマニエネン国民議会副議長とも会談した。

○ 国民議会関係者のIPU会議出席

5日～9日、ケオラペツェ国民議会議長は、ウズベキスタンの首都タシケントで開催さ

れた第150回列国議会同盟(IPU)会議へ参加した。同会議には野党第一党ボツワナ議会党(BCP)サレシャンド党首等も同行した。

○ ブタレ国際関係大臣、第4回外交フォーラム出席

ブタレ国際関係大臣は、第4回外交フォーラムに出席するため、11日から14日までの日程でアンタリヤ(トルコ)を訪問した。期間中、同大臣はジョージアの外務大臣、キルギス共和国の外務次官等との会談も実施した。

○ ボコ大統領、ヒチレマ・ザンビア大統領と会談

14日、ボコ大統領は、ヒチレマ・ザンビア大統領と会談し、アフリカ開発銀行総裁選でザンビアのマインボ候補を支持するよう要請を受けた。ボコ大統領は、支持要請について事前の協議があったことを認めつつ、両国のこれまでの関係や深化していく二国間関係への相互の貢献等に触れた。

○ ブルキナファソ使節団、ボツワナ訪問

14日、ブルキナファソ使節団が、モレキシ大統領府次官を表敬した。使節団は、カガンベガ鉱業・天然資源担当大統領特別顧問によるガバナンス等のベンチマークとしてボツワナを訪問し、18日にはブタレ国際関係大臣と会談するなどした。

○ ハオラテ副大統領兼財務大臣、訪米

21日～5月2日、ハオラテ副大統領兼財務大臣は、米国を訪問し、MIT等を訪問したほか、世銀とIMF主催の会議等に出席した。同副大統領には、ディコップ・ボツワナ銀行総裁の他、政府高官が同行した。

○ ボツワナとルクセンブルク、金融サービスでパートナーシップ協定

24日、ハオラテ副大統領兼財務大臣はワシントンDCで、ルクセンブルク大公国との間で、金融サービス分野における協力促進の覚書(MoU)に署名した。これは、3月の同副大統領のルクセンブルク訪問に続くもの。

○ ボコ大統領の南ア訪問

26日～29日、ボコ大統領は、ラマポーザ大統領の招待により、大統領就任後初めて南アを公式訪問。29日、両首脳はプレトリアで首脳会談を行い、地域における協力やボツワナと南アの関係強化について議論した。ボコ大統領には、ブタレ国際関係大臣やケネウエンド鉱物資源・エネルギー大臣等が同行し、大統領代行はモワサ大統領府担当大臣が務めた。

○ 通信・イノベーション省副大臣、ZTEと会合

29日、ントハイレ通信・イノベーション副大臣は、中興通訊(ZET)の関係者らと会談し、ボツワナのDXの状況等について議論した。

○ モロチ環境観光大臣、バーゼル・ロッテルダム・ストックホルム三条約合同締約国会議(2025年開催)に出席

29日～5月2日、モロチ環境観光大臣は、スイスを訪問。スイスのジュネーブで開催されたバーゼル・ロッテルダム・ストックホルム三条約合同締約国会議(2025年開催)に政府高官代表団を率いて、出席した。

【SADC関連】

○ SADC45周年

1日、南部アフリカ開発共同体(SADC)は発足45周年を迎え、南部アフリカの人々のための地域間協力、統合、発展の深化へのコミットメントを再確認した。

○ SADCと西サハラ、MoUを締結

2日、ハボローネにて、SADCと西サハラは覚書(MoU)に署名した。MoUの目的は、2019年8月にSADC首脳会議の採択した決定と、2019年3月に南アプレトリアで開催された西サハラとのSADC連帯会議に関する宣言を文書化することにある。

○ SADC、次期アフリカ開発銀行総裁選でザンビア候補支持を表明

SADCは、次期アフリカ開発銀行総裁選において、ザンビアのサミュエル・ムンゼレ・マインボ候補を全面的に支持すると表明した。同候補は支持要請のため、ボツワナを訪問していた。

【経済】

○ 対ボツワナのトランプ関税は37%

3日、3月26日にトランプ政権が発表した関税が発動した。対ボツワナの関税は37%であり、アフリカで第3位の高さとなっている。ボツワナの対米輸出品目は主にダイヤモンドであり、影響が懸念される。

○ S&A格付け-見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ

4日、ムーディーズは、ボツワナ政府の格付見通しを、ダイヤモンド産業の長期低迷による信用リスクの高まりを反映し「安定的」から「ネガティブ」へ変更した。一方、同政府の長期通貨発行体としての格付については、穏やかな債務状況及び同国の低い政治・地政学的リスクを考慮し、A3に据え置いた。

○ 第12次国家開発計画策定に向けた協議の開始

国家計画委員会は、第12次国家開発計画（NDP12）（注）策定に向けた全国協議を開始した。一方、今年1月に7月までの延期が発表されていた現行の暫定国家開発計画（TNDP）は4月から7か月延長され、2025年10月までとなった。NDP12は、5年間で10%の経済成長と50万人の雇用創出など、野心的な目標が盛り込まれる見通し。政府は国民議会での11月の成立を目指す。

（注）2023年3月に終了したNDP11の後継計画。前政権においてNDP12は、2024年の総選挙後の新政権が策定することと決定され、結果として2023年4月から2025年3月までは暫定的な国家開発計画（TNDP）を実施することとされたが、今年1月、現政権は、TNDPの実施期間を今年7月まで延長することを決定していた。

○ 野菜輸入禁止措置の一部解除

8日、ボツワナ政府は、ビートルート、サツマイモ、にんにく、生姜、ハーブ、人参、玉ネギの7種類の野菜について、同日付で輸入禁止解除とした。レタス等国内生産が十分な野菜については輸入禁止措置が継続される。

○ 2025年第2回金融政策会合-政策金利は1.9%で変わらず-

17日、ボツワナ銀行の金融政策委員会（MPC）は、今年2回目（隔月実施）の金融政策会合を開催し、金利（MoPR）を引き続き1.9%と維持することを決定した。当該決定に際し、国内経済は緩やかに回復するものの、需要主導のインフレ圧力は発生せず、インフレは同行の中期目標範囲内（3から6%）に収まると予測している。

○ IMFによる経済見通し-2024年、2025年共にマイナス成長-

IMFは、世界経済見通しを公表。2024年のボツワナの経済見通しについては、10月時点のプラス成長予測（0.987%）から一転してマイナス成長（マイナス2.99%）と見込み、2025年もマイナス成長（マイナス0.364%）と見込む。

○ インフレ率（2025年3月）-2.8%-

3月の年間インフレ率（前年同月比）は2.8%となり、前月（2.7%）から0.1ポイント上昇した。分野別寄与度は、上位から食品・非アルコール飲料（0.9%）、雑貨・サービス（0.7%）、アルコール飲料・タバコ（0.3%）。

○ 国際商品貿易統計（2025年2月）-赤字が継続-

2月のボツワナの輸入額は66.588億プラで、1月の68.520億プラ（改定値）から2.8%減少した。品目別割合は、食品・飲料・タバコが18.9%、燃料が17.4%、機械・電気機器が16.5%、化学・ゴム製品が11.9%、車両・運輸機械が10.2%となっている。輸入元は、南アが最も多く64.2%、続いてナミビアが5.8%、中国が5.0%、

インドが2.8%、カナダが2.5%となっている。

また同月のボツワナの輸出額は35.345億プラで、1月の31.135億プラ(改定値)から13.5%増加した。輸出総額のうちダイヤモンドが57.4%、銅が25.0%を占めている。輸出先は、ベルギーが27.5%、UAEが20.2%、豪州が13.7%、南アが11.4%、中国が10.4%となっている。

結果として同月の貿易収支は31.243億プラの赤字となり、2023年9月以降、18か月連続の貿易赤字となった。

【文化】

○ボコ大統領、2025年の「最も影響力のある100人」に選ばれる

16日、米TIME紙は、ボコ大統領を2025年の「最も影響力のある100人」に選出した。これは2024年総選挙のボツワナにおける歴史的政権交代とスムーズな政権移行をうけたもの。

【日本大使館関係】

○日本理解促進のための図書寄贈式典

9日、日本財団が助成する図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」により、ボツワナ農業天然資源大学へ日本関連図書178冊が寄贈され、ハボローネ市内の同大学本部で行われた寄贈式に、進藤大使、同大学副学長、大学関係者が出席した。寄贈された書籍は、日本関連の経済、ビジネス、政治、国際関係、文化、芸術、歴史など様々な分野に及ぶ。本事業を通し、当地ではこれまで8つの大学・研究機関が寄贈図書を受け取っている。

(了)